

Q

### 都市計画道路川越 鶴ヶ島線等の整備

内野 嘉広 議員



A

### 地元の意見を伺いながら 着実に事業を進める

**質問一** 都市計画道路の整備効果は。 便性が向上する。 農業大学校跡地への企業誘致に

**二** 都市計画道路と運動公園2期整備の概算整備費は。 よる産業集積で交通量が増加して

**三** タイムスケジュールは。 も、大型車両の生活道路への流入を抑制する効果がある。

**四** 周辺対策は。 **二** 川越鶴ヶ島線は、幅員25メートルの4車線で、全幅員の用地を確保した上で暫定的に2車線での整備を考えている。鶴ヶ島南通り線は、幅員16メートルで整備する予定で、概算



圏央鶴ヶ島インターチェンジ

事業費は約7億2900万円と試算している。また運動公園第2期整備は、約34億5500万円と試算している。事業に当たり、市に有利な財源の確保に努める。

**三** 都市計画道路と運動公園第2期整備は、おおむね5年程度のうちに整備をしたいと考えている。

**四** 事業の進捗にあわせて、地元の方に情報発信し、地域発展に資する取り組みを行う。道路整備では、地下水の影響等を調査する。



### 魅力ある鶴ヶ島の創造について

大曽根英明 議員

Q

### A 総合的施策で定住促進を図る

**質問一** 人口減社会における当市の税収確保は。 **二** 子育て支援は。 **三** 定住促進は。 **答弁一（市長）** 将来にわたって財政の健全性を維持するために重要なのは安定的な自主財源の確保であるが、自主財源の中心である市税収入の大きな伸びは現状では期待できない。ふるさと納税を起爆剤として地域の魅力的な資源をPRし、市内産業の支援・育成に努める。また、農業大学校跡地の活用などにより税収を確保していく。

**二** 経済的な支援として、児童手当や子ども医療費の助成を行っている。また、保護者が共に働き続けられる環境整備として、保育所や学童保育室などの拡充を図ってきた。 **三** 定住促進には、子育て支援や教育環境の充実などが重要だと考えている。また農業大学校跡地の産業集積を図り、市民の雇用の機会を拡大するなど、総合的に定住促進を進めていく。



ふるさと納税のパンフレット